

4年 10 解説	分数の表し方	年 組
		名前

真分数と仮分数、帯分数

$\frac{1}{3}$ や $\frac{2}{5}$ のように分子が分母より小さい分数を**真分数**といいます。

$\frac{3}{3}$ や $\frac{5}{3}$ 、 $\frac{11}{4}$ のように、分子と分母が同じか、分子が分母より大きい分数を**仮分数**といいます。

$1\frac{2}{3}$ や $2\frac{3}{4}$ のように、整数と真分数の和で表されている分数を**帯分数**といいます。

真分数は、1より小さい分数です。
仮分数は、1または1より大きい分数です。
帯分数は、1より大きい分数です。

$\frac{9}{4}$ を帯分数になおしましょう。

$9 \div 4 = 2$ 余り 1

$\frac{9}{4} = 2\frac{1}{4}$

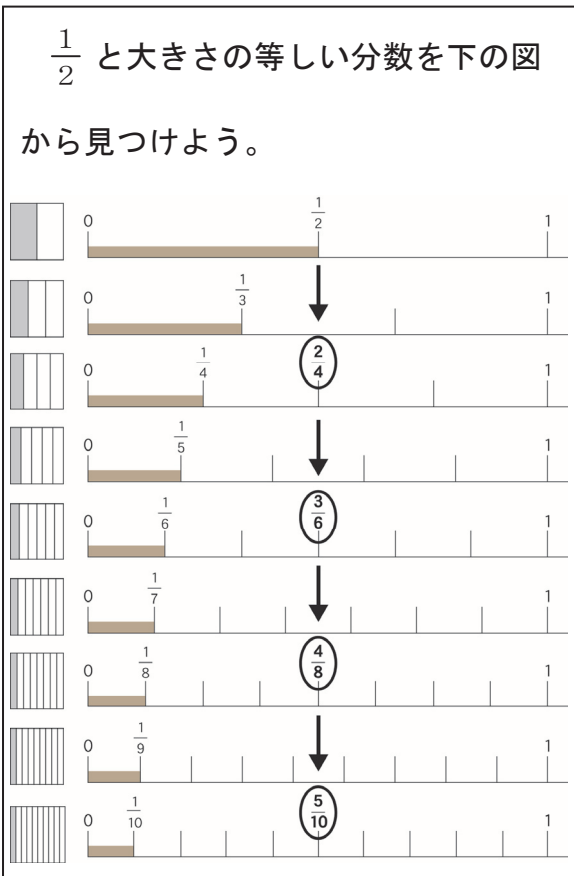
$\frac{9}{4}$ の中に $\frac{4}{4}$ が何こ分あるかを考えます。

$2\frac{1}{3}$ を仮分数になおしましょう。

$3 \times 2 + 1 = 7$

$2\frac{1}{3} = \frac{7}{3}$

$\frac{1}{3}$ の3こ分が1だから、2は 3×2 で6こ分になります。



図を見て、 $\frac{1}{2}$ の所に線を引いてみると、同じ大きさの分数が見えてきます。

$\frac{1}{2} = \frac{2}{4} = \frac{3}{6} = \frac{4}{8} = \frac{5}{10}$

◇分数には、分母と分子がちがっていても、大きさの等しい分数があります。

◇分母が同じ分数では、分子が大きくなるほど、分数の大きさは大きくなります。

◇分子が同じ分数では、分母が大きくなると、分数の大きさは小さくなります。